

IR HANDBOOK

第72期

事業のご報告

2020.4.1—2021.3.31



私たち松田産業は、限りある地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献します

当社グループは、限りある資源・貴金属をリサイクルして有効活用する「貴金属事業」、きれいな環境を次世代に引き継ぐ「環境事業」、地球の豊かな恵み、食資源を安定的に供給する「食品事業」の3事業を展開しています。

貴金属関連事業と食品関連事業の双方を成長の牽引役とし、当社事業と社会が持続的かつ相互的に発展するサイクルを展開させていきます。

貴金属関連事業



VISION / “東アジアで資源循環を創造するリーディングカンパニー” セグメント従業員数 **1,101**名
2021年3月31日現在

事業の成り立ち
 ルーツ: 1935年、フィルムなど写真感光材料から銀の回収・製錬を開始
 銀の製造は金、白金族の貴金属事業へと展開。定着液や現像液の処理を伴うことから、環境事業としても発展

貴金属事業の概要
 ・貴金属回収製錬、貴金属材料・製品の製造販売および薄膜形成装置治具の洗浄を展開
 ・エレクトロニクス、宝飾、歯科、触媒業界などが主要顧客

貴金属事業の強み
 ① 安定的なサプライチェーンに貢献する循環型ビジネスモデル、高純度の貴金属を精製する高度な技術、一貫した貴金属リサイクルシステムを提供
 ② 東アジアで展開する貴金属原料集荷と貴金属材料・製品供給のネットワーク
 ③ 高度なリサイクル技術から生み出された貴金属地金ブランドへの信頼
 ④ 治具の再生とともに、貴金属を回収しリサイクルする精密洗浄

環境事業の概要
 ・廃酸、廃アルカリ、廃油、汚泥、廃プラなど産業廃棄物の収集運搬、無害化処理および資源リサイクルを展開
 ・エレクトロニクス、化学・製薬業界、医療機関等が主要顧客

環境事業の強み
 ① 産業廃棄物の無害化処理技術と有効利用で、お客様のゼロエミッション達成に向けた効率的な再資源化リサイクルに貢献
 ② 全国をカバーする国内屈指の収集運搬リサイクルネットワーク



食品関連事業

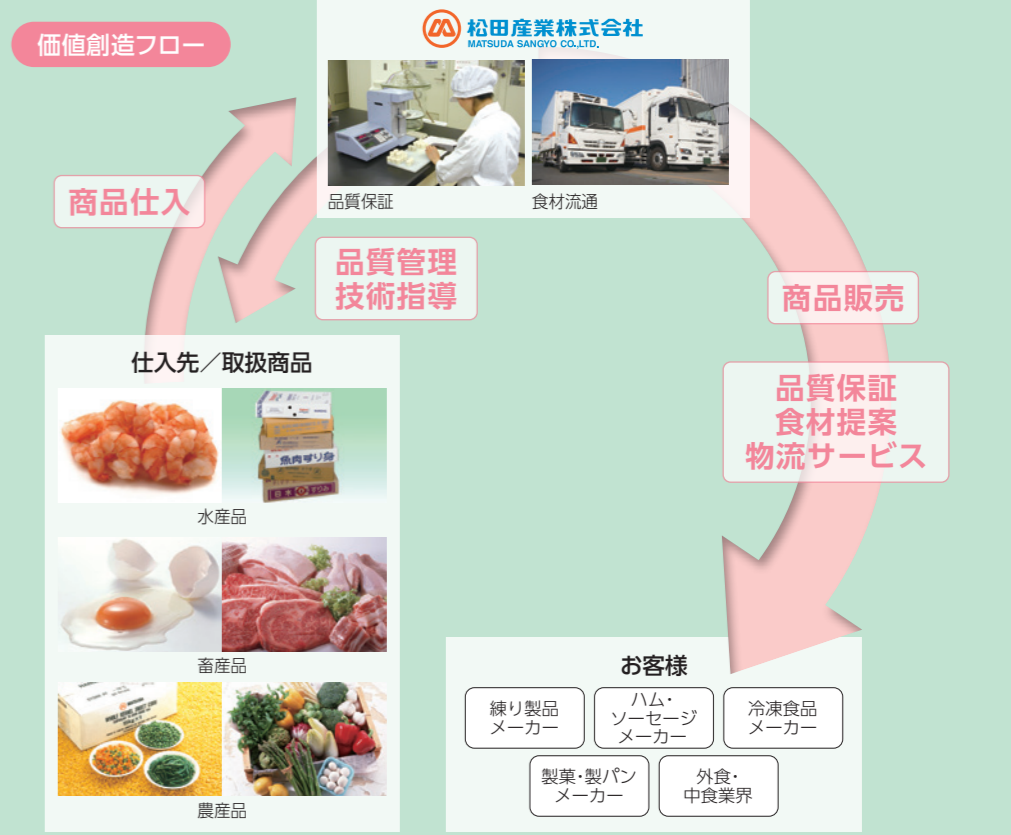


VISION / “お客様の商品開発のベストパートナー” セグメント従業員数 **263**名
2021年3月31日現在

事業の成り立ち
 ルーツ: 1948年、食品加工メーカーのマヨネーズ製造過程で不要となった卵白を、かまぼこなど練り製品業界向けに販売
 魚肉すりみをはじめとした水産品や農産品・畜産品の取り扱いへと拡大

食品関連事業の概要
 ・欧米・アジア・南米など世界各地にネットワークを広げ、安全・安心な食材(水産品・畜産品・農産品など)を調達
 ・練り製品やハム・ソーセージ、冷凍食品等の加工食品メーカーや、製菓・製パンメーカー、外食・中食業界が主要顧客

食品関連事業の強み
 ① 魚肉すりみ、エビ、イカ、タコ、貝、卵、チキン、ポーク、ビーフ、乾燥野菜、冷凍野菜など、多種多様な食材を提供。現地法人を活用し、グローバルな調達ネットワークを展開
 ② ニーズに沿った加工地や産地を提案し、ユーザーが最も使いやすい形態・ロットで一次加工。新鮮素材を最適技術で現地加工し、高品質・低コストな食材を提供
 ③ 品質保証室による技術指導、品質規格書の発行、トレーサビリティの実施等により、当社ならではの「安全・安心」の差別化



事業を通じた社会貢献により 持続的成長サイクルを回し、 企業価値の向上を 目指します。



代表取締役社長 松田 芳明

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社の2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の
IR HANDBOOKをお届けいたします。

本誌を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。

Q 2021年3月期の業績と配当について お話しください。

2021年3月期は、新型コロナウイルス感染症の影響により国内では個人消費が低迷し、非製造業等の企業収益が減少するなど厳しい状況で推移しました。経済政策によって景気回復の動きが見られたものの、同感染症の再拡大に伴う度重なる自粛や米中貿易摩擦等から、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

こうしたなか貴金属関連事業では、営業展開を強化しながら国内外の生産拠点を活用し、貴金属原料の確保や化成品等の製商品販売、産業廃棄物処理の受託拡大に注力しました。その結果、貴金属リサイクルの取扱量が増加し金製品等の販売量も増加したほか、貴金属相場の上昇もあり、増収増益となりました。

食品関連事業では、コロナ禍によってサプライチェーンの混乱が懸念されるなかで安定供給責任を果たすとともに、顧客ニーズを捉えた商品の開拓・提供や拡販に努めました。しかしながら、農産品と畜産品の売上高が増加したものの水産品の売上高は減少し、減収減益となりました。

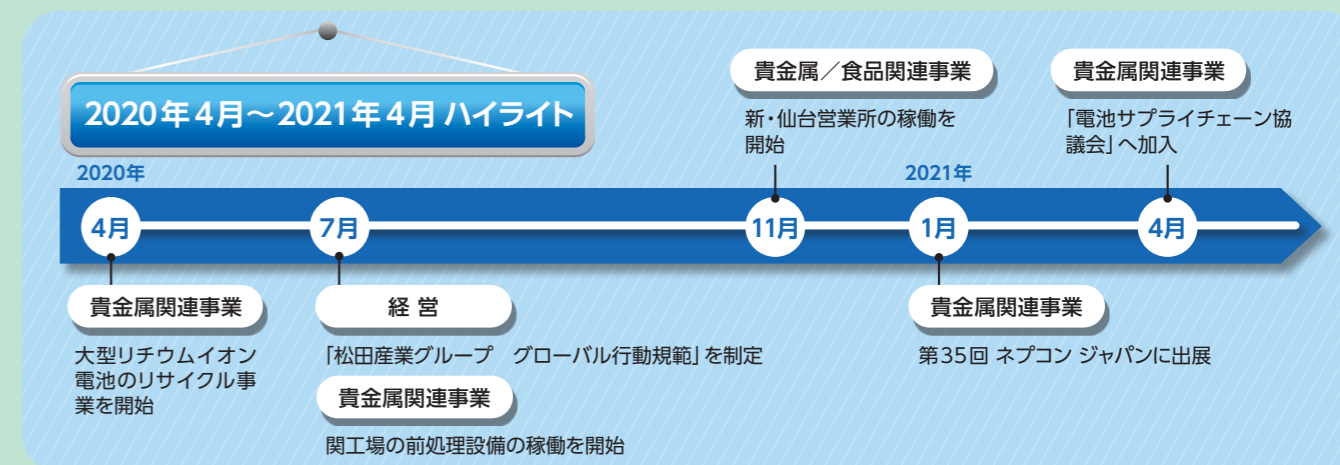
この結果、2021年3月期の連結業績は、売上高は前期比9.8%増の2,315億59百万円、営業利益は同28.8%増の80億38百万円、経常利益は同31.1%増の83億69百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同50.7%増の60億98百万円となりました。期末配当

金については、本年2月に上方修正しました通り1株当たり20円とし、中間配当金と合わせた年間配当金は38円といたしました。2022年3月期の1株当たり年間配当金については、前年比4円増配の42円とする予定です。

Q 中期経営計画2年目の振り返りと 足元の事業環境について お聞かせください。

中期経営計画(2019-2021年度)の2年目であった2021年3月期は、新型コロナウイルス感染症に対し従業員および関係する全ての皆様の安全を最優先し感染防止に努めるとともに、同感染症や米中貿易摩擦等の影響を注視しながら各事業の戦略に注力した結果、売上高と親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を更新することができました。

足元では同感染症のワクチン接種が進む一方、変異種の拡大等からいまだに収束時期が見えないほか、気候変動問題に対する脱炭素への取り組みが国内外で急加速するなど、事業環境は不透明かつ激しい変化が続いております。当社グループは、貴金属関連事業および食品関連事業の双方で顧客ニーズに対応した高い付加価値を提供し続けることで競争優位性を高めつつ事業を拡大し、事業を通じた社会貢献によって持続的な成長サイクルを回し、企業価値の向上を目指してまいります。



Q 今後の重点施策や脱炭素、SDGs、ESG 等への取り組みについてお願いします。

貴金属関連事業では、今後も「東アジアで資源循環を創造するリーディングカンパニー」というビジョンのもと、高機能電子材料や化成品等の販売および貴金属リサイクル原料回収の拡大を図ります。また、貴金属回収技術の向上や顧客ニーズに応えた製品開発、自動化・省力化に向けた研究開発によって差別化を進めます。その一環としてこのたび、脱炭素にも貢献するLEDやパワー半導体向けおよびスマートフォン等向けに、高品質な金蒸着材を開発しました。産業廃棄物の収集運搬・無害化処理・資源リサイクルにおいても対象市場の拡大やさらなる顧客価値の提案、営業体制の整備を進め、リチウムイオン電池分野など、将来に向けた事業領域の拡大に取り組みます。

食品関連事業では、引き続き「お客様の商品開発のベストパートナー」をビジョンに掲げ、これまで培った品質保証ノウハウにより安全・安心かつ高品質で安定的な食品原料の供給で差別化を図るほか、開発/品質保証/生産管理支援機能のさらなる強化を進めます。その一例として、貴金属関連事業の機器を用いた高精度な原材料検査など、当社ならではのシナジーが強みとして拡大し始めております。商品ラインナップの拡充やグローバル展開にも注力し、為替変動リスクへも適切に対処してまいります。

事業環境の不透明感は続きますが、当社グループは今後も両事業を通じてSDGsへの貢献やESG課題の解決に注力し、社会の持続的発展に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

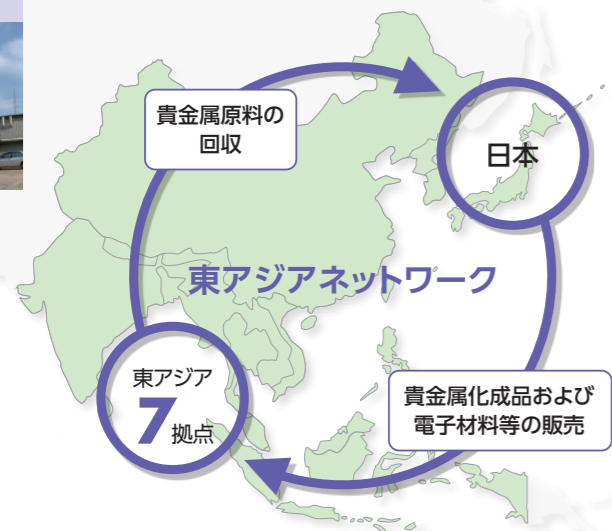
貴金属関連事業



2021年3月期の業績

主力顧客のエレクトロニクス業界は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも自動車市場の回復、リモートワーク向けPC・サーバーの好調、5G通信の進展等を背景に期後半にかけて生産活動が活発化しました。こうしたなか、産業廃棄物の処理受託は減少したものの貴金属リサイクルの取扱量は増加し、金製品等の販売量増加に加え貴金属相場の上昇もあり、売上高、営業利益とも増加しました。

拠点

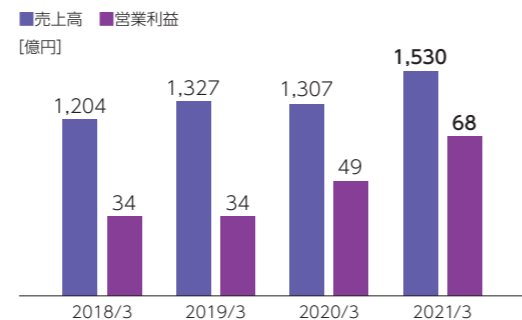


売上高
1,530 億円

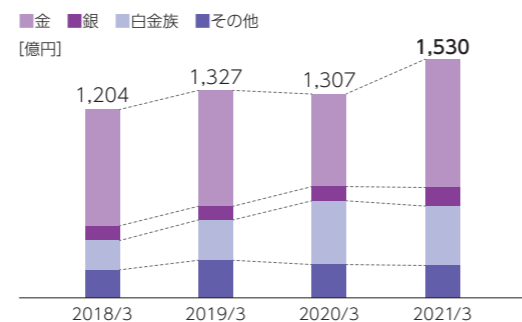
前期比
17.1%

営業利益
68 億円

前期比
38.5%



品目別売上高



2022年3月期の見通しと施策

主力顧客であるエレクトロニクス業界の電子部品・デバイス分野などの生産状況は、引き続き好調に推移するものと予想しています。そのなかで当社グループでは、高性能電子材料や化成品等の製商品の販売および貴金属リサイクル原料回収の拡大に向け、顧客ニーズに対応した事業の差別化を進め、業容の維持・拡大を図ります。

新型コロナウイルス感染症が収束しないなか、事業活動ではどのような工夫をしていますか？

「感染しない」「させない」ことを大前提に、引き続き、従業員、お客様、取引先など各ステークホルダーの健康・安全の確保とサプライチェーンの維持に注力しています。具体的には、WEBミーティングやテレワーク、工場でのシフト勤務制の導入に加え、海外現地法人とのやり取りでは、金属回収装置等の設置や技術指導において、スマートグラスを用いた遠隔支援を行っています。



スマートグラス ※イメージです。

食品関連事業



2021年3月期の業績

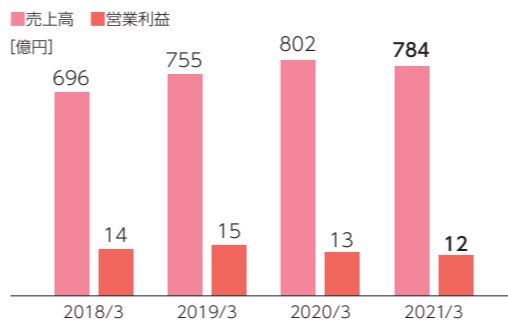
主力顧客である食品製造業界は、新型コロナウイルス感染症の影響から巣ごもり需要等で個人消費が一時的に回復したものの、外食産業や土産物販売の低迷に伴う業務用食品の需要低下やインバウンド需要の縮小等から、総じて厳しい状況となりました。こうしたなか、農産品と畜産品の売上高は増加した一方、水産品の売上高は減少し、全体としては売上高、営業利益とも減少しました。

売上高
784 億円

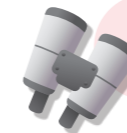
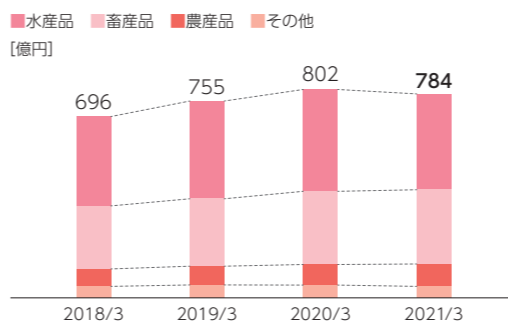
前期比
2.2%

営業利益
12 億円

前期比
7.9%



品目別売上高



2022年3月期の見通しと施策

新型コロナウイルス感染症や米中貿易摩擦等によるサプライチェーンへの影響懸念を含め依然として不透明な状況が続きますが、同感染症に伴う需要の変化にも対処し、海外拠点の活用を含め顧客ニーズを的確に捉え、安全・安心・安定供給を根本に据えた商品の開拓・提供により差別化することで、収益の改善を図ります。

昨年11月に稼働した新・仙台営業所の機能や特徴、狙い等を教えてください。

同営業所では「提案力」のさらなる強化というコンセプトのもと、調理機器や厨房設備を備えたテストキッチンで取引先と調理・試作しながら原材料やメニューの検討が可能であるほか、国内外で調達した原材料や各種メニューを試食しながら商談できるプレゼンテーションルームも設置しています。



新・仙台営業所テストキッチン

拠点



グローバルネットワーク — 調達先 —

アメリカ	魚肉すりみ / 冷凍野菜 / 乾燥ポテト / 乾燥卵 / ポーク / ビーフ	インドネシア	魚肉すりみ / エビ / 冷凍野菜
カナダ	ポーク / ビーフ	インド	魚肉すりみ / エビ / 乾燥卵 / 乾燥ポテト
メキシコ	ポーク / ビーフ	ミャンマー	エビ
ブラジル	チキン	イギリス	ポーク / ビーフ
ペルー	イカ	アイルランド	ポーク / ビーフ
チリ	イカ / ポーク	スペイン	ポーク / ビーフ
オーストラリア	ビーフ	イタリア	乾燥卵
ニュージーランド	冷凍野菜	ベルギー	乾燥卵 / 冷凍野菜
中国	魚肉すりみ / アサリ / カニ / イカ / エビ / 冷凍野菜	ドイツ	乾燥卵
タイ	魚肉すりみ / エビ / 冷凍野菜 / チキン	ポーランド	ビーフ
ベトナム	魚肉すりみ / エビ / タコ / 冷凍野菜	デンマーク	ポーク
		オランダ	ポーク

TOPIC 1

IR・SR

結果ご報告

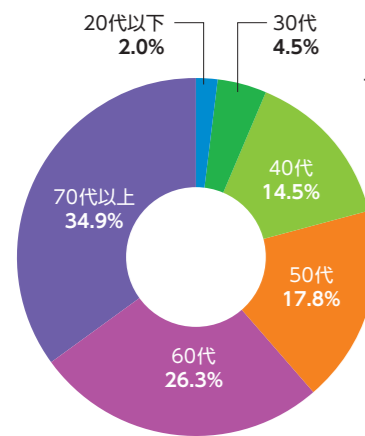
株主様アンケートにご協力いただき、
ありがとうございます

第71回(2020年3月期)定時株主総会決議ご通知に同封いたしました株主様アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。多くの株主の皆様にご回答いただきましたことを厚く御礼申し上げますとともに、結果の一部をご紹介します。

調査期間: 2020年6月25日~7月31日 回答率: 49.9%

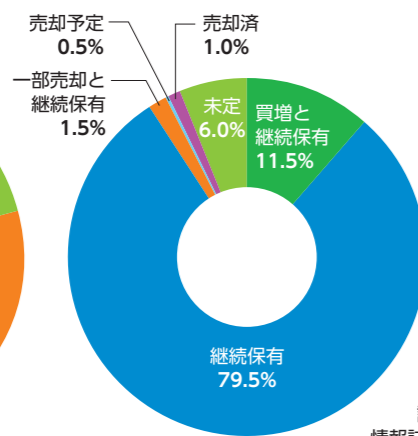
株主様世代構成

前回(2020年3月期)に比べ70歳代以上の比率が高まり、60歳代以下の比率が低下しました。



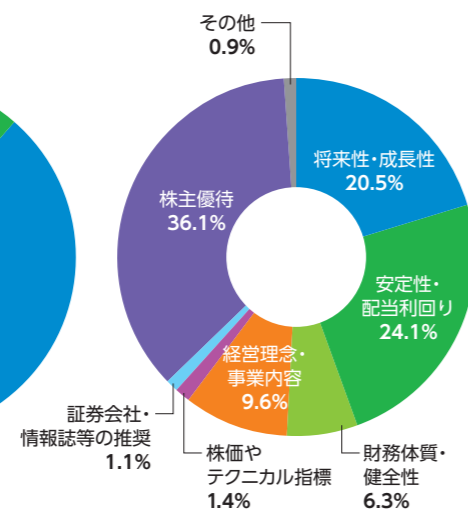
当社株式の今後の保有方針

前回に比べ「買増と継続保有」が0.9ポイント、「継続保有」が0.5ポイントそれぞれ上昇しました。



当社株式の購入理由

前回に比べ「将来性・成長性」が0.3ポイント、「安定性・配当利回り」が0.2ポイントそれぞれ上昇しました。今後もご期待に応えられるよう努力してまいります。



TOPIC 2

ESG

「松田産業グループ グローバル行動規範」を制定

当社グループは昨年7月、「松田産業グループ グローバル行動規範」を制定しました。これは、「限りある地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献する」という当社の企業理念を実践するために定めた、事業活動およびその他の社会的活動における最高位の社内基準です。

行動規範は「コンプライアンス」「社会貢献」「事業活動」「会社資産・情報の保全」「人権の尊重」「環境保全」の6つの分野にわたって詳細に示されているほか、それらに違反した場合または違反の可能性を察知した場合、速やかに適切な是正措置を講じます。当社グループは同規範を指針としながら今後の事業環境の変化に対応し、社会的影響力のある事業活動を持続的かつ公正に発展させていくことを目指してまいります。



- コンプライアンス
- 社会貢献
- 事業活動
- 会社資産・情報の保全
- 人権の尊重
- 環境保全

「グローバル行動規範」の詳細は当社ホームページでご覧いただけます。
https://www.matsuda-sangyo.co.jp/about/policy/global_code_of_conduct.html

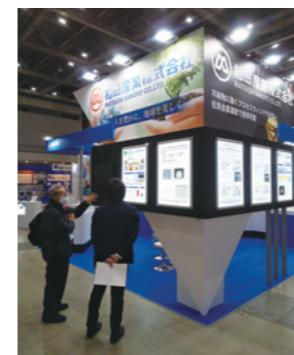
TOPIC 3

9 12

貴金属関連事業

お客様の歩留まり向上につながる 高品質電子材料をアピール

貴金属関連事業では本年1月、エレクトロニクス機器の多機能化や高性能化を担う電子部品/材料/装置メーカー等が集う展示会「第35回 ネブコン ジャパン」(東京ビッグサイト)に参加し、当社は、新規開発した金蒸着材「MNS」を中心に紹介しました。「MNS」は半導体の製造に使用される蒸着材の一つで、従来品よりも不良品の発生を減らし歩留まり向上や金使用量の低減に貢献し、特に車載向けや通信向けなど、高性能・高信頼性が求められる用途で高い効果を発揮します。2021年4月26日付の日刊産業新聞でも取り上げられるなど注目を集めており、今後の自動車の電装化や拡大する大容量通信需要を背景に、国内外でのシェア拡大に取り組みます。



当社ブース



金蒸着材「MNS」

TOPIC 4

3 14



食品関連事業

グローバルな品質保証により、 人材を育て、事業間シナジーも創出

食品関連事業では、お客様に安全・安心な食材を提供するための機能強化に早くから取り組み、1988年に設置された「品質保証室」が、「仕入先への指導」「人材育成」「検査機能」で強みを発揮しています。まず「仕入先への指導」「人材育成」については、国内外の数百社におよぶ仕入先に出向き、製造工場等で当社従業員が協力・対話しながら品質を作り込

むほか、検査・製造にまつわる技術指導も行います。また、新入社員をはじめとした営業スタッフへの研修を行っているほか、コロナ禍になってからはオンラインによる活動も拡充しています。

「検査機能」については、貴金属関連事業と食品関連事業の双方を展開する当社ならではの経営資源を活かし、例えば異物混入時の要因分析の際は前者の保有機器で高精度な検査を実施するなど、両事業によるシナジーを発揮した当社ならではの長所としてご評価いただいています。



各種検査機器等

貴金属関連事業の分析機器を使い、迅速かつ高精度な検査を実現

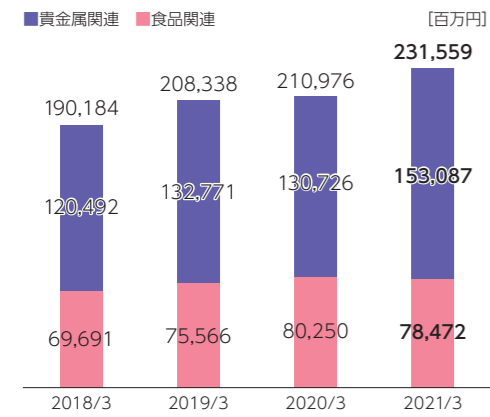


走査型電子顕微鏡

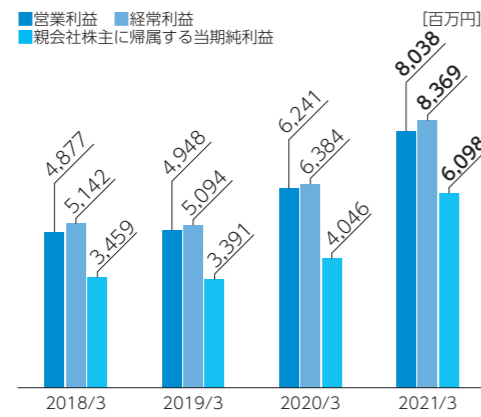


仕入先への指導風景

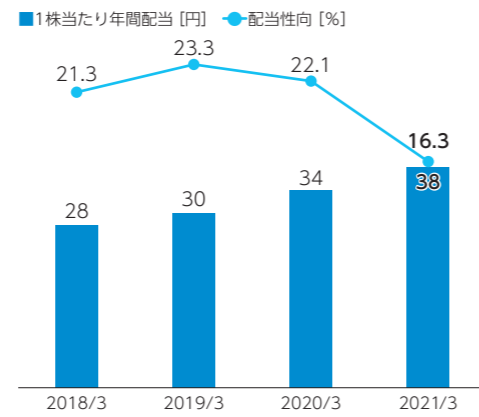
売上高



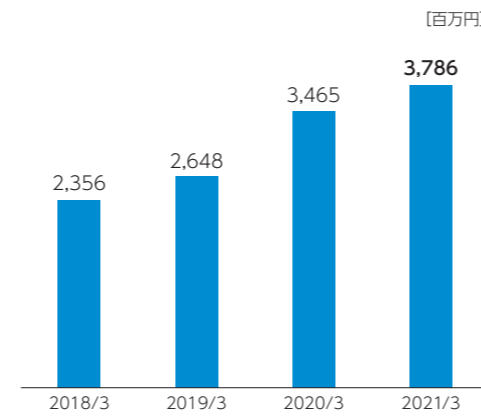
営業利益 / 経常利益 / 親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり年間配当 / 配当性向

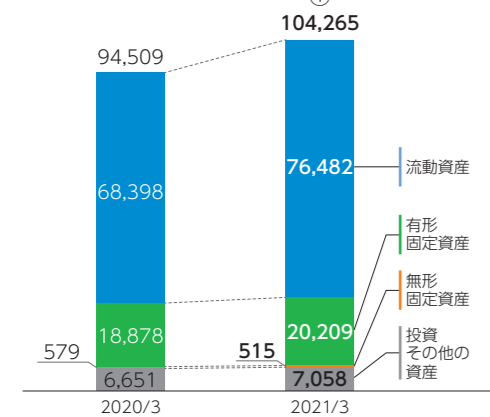


設備投資額

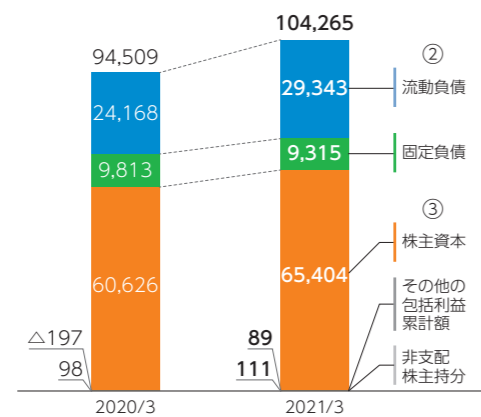


貸借対照表

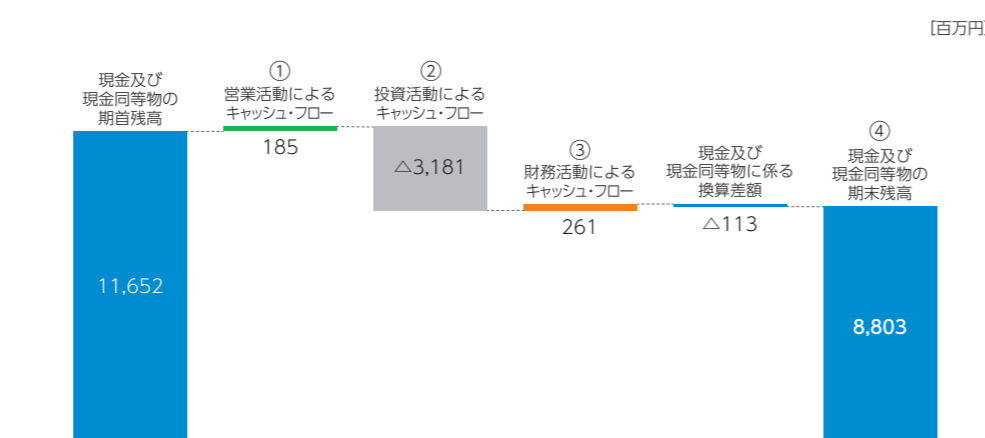
資産の部



負債・純資産の部



キャッシュ・フロー計算書



- ① 現金及び預金が減少した一方、受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加し、また工場設備を新設・更新したことなどから、資産の部は9,756百万円の増加となりました。
- ② 買掛金、短期借入金、未払法人税等が増加したことなどから、負債の部は4,677百万円の増加となりました。
- ③ 配当金の支払いと自己株式の取得による減少を、親会社株主に帰属する当期純利益による増加が上回ったことなどから、純資産の部は5,078百万円の増加となりました。

- ① 税金等調整前当期純利益、減価償却費、仕入債務の増加等による資金の増加と、売上債権、たな卸資産の増加、法人税等の支払い等による資金の減少の差引等により、185百万円の資金の増加となりました。
- ② 工場設備の新設・更新等につまわる有形固定資産の取得等による支出と有形固定資産の売却等による収入の差し引き等により、3,181百万円の支出となりました。
- ③ 借入金の増加等による資金の増加と、自己株式の取得や配当金の支払い等による資金の減少の差し引き等により、261百万円の資金の増加となりました。
- ④ 以上により、現金及び現金同等物の期末残高は前連結会計年度末から2,848百万円減少し、8,803百万円となりました。

会社概要 (2021年3月31日 現在)

商号	松田産業株式会社
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-26-2
設立年月日	1951年6月18日
資本金	3,559百万円
従業員数(連結)	1,468名
主な事業内容	貴金属回収製錬、貴金属地金・電子材料他の販売、食品加工原材料の卸売、産業廃棄物の収集・運搬・処理
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人

役員一覧 (2021年6月24日 現在)

代表取締役社長	松田 芳明
取締役副社長	對馬 浩二
取締役	片山 雄司
	山崎 隆一
	都築 淳一
	石禾 健二
	上田 雄大
監査等委員	畠山 伸一
	内山 敏彦
	小島 敏幸
	横見瀬 薫

※ 監査等委員はいずれも社外取締役です。

事業所 (2021年4月1日 現在)

金属・環境営業本部	仙台 / 水戸 / 埼玉 / 東京 / 神奈川 / 長野 / 名古屋 / 名古屋第二 / 金沢 / 大阪 / 福山 / 福岡 / 鹿児島
食品事業部	札幌 / 仙台 / 北関東 / 東京 / 名古屋 / 大阪 / 松山 / 福岡 / 品質保証室 / 台湾
生産部門	開発センター / 武蔵工場 / 武蔵第三工場 / 入間工場 / 入間第二工場 / 関工場 / 関第二工場

関係会社 (2021年3月31日 現在)

マツダ流通株式会社	貨物自動車運送
マツダ環境株式会社	貴金属製品販売
日本メディカルテクノロジー株式会社	金属原料の回収・販売
北海道アオキ化学株式会社	産業廃棄物の収集・運搬および処理、金属原料の回収・販売
ゼロ・ジャパン株式会社	各種廃棄物処理・設備販売
ガルフ食品株式会社	水産品の輸入卸売
日鉄マイクロメタル株式会社	電子工業用金属製品の製造・販売

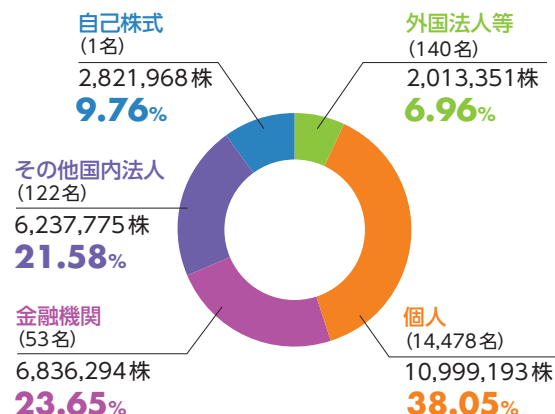
現地法人 (2021年3月31日 現在)

貴金属関連	Matsuda Sangyo (Thailand) Co., Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Philippines) Corporation	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Singapore) Pte. Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	松田資源利用(蘇州)有限公司	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Malaysia) Sdn. Bhd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Vietnam) Co., Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	台湾松田産業股份有限公司	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
食品関連	松田商貿(青島)有限公司	食品加工原材料の販売、仕入仲介
	Matsuda Sangyo Trading (Thailand) Co., Ltd.	食品加工原材料の販売、仕入仲介
	Matsuda Sangyo Trading (Vietnam) Co., Ltd.	食品加工原材料の販売、仕入仲介

株式の状況 (2021年3月31日 現在)

株式の総数	40,000,000株
発行済株式総数	28,908,581株
株主数	14,794名

所有者別分布状況 (2021年3月31日 現在)

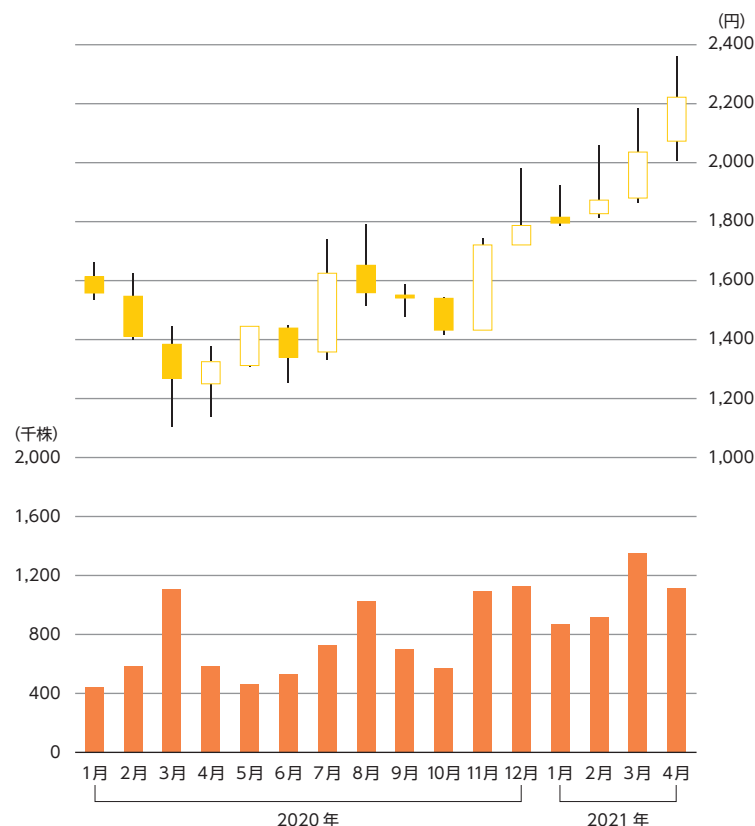


(ご注意)
1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL:0120-232-711 (通話料無料) 〈郵送先〉〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株価・出来高推移



株主優待

1 対象株主

毎年3月31日現在、当社株式を1年以上継続して、1単元(100株)以上保有する国内在住の株主様を対象といたします。

※なお、1年以上継続保有の株主様とは、同じ株主番号で3月31日および9月30日現在の株主名簿に3回以上連続で記載または記録された株主様です。

2 優待の内容

一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈いたします。



3 贈呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。

ホームページのご案内

松田産業

検索

トップ画面

当社の事業や強み、最新の取り組みをご紹介します。ぜひ、ご覧ください。



証券コード:7456

東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル
Tel. 03-5381-0001 (代表)

